

ルックルック！

丹後町の人口

	R7.11月末	前月比
0-14歳	302	△ 6
15-64歳	1,926	△ 1
65歳-	1,984	3
計	4,212	△ 4



←丹後市民局NEWSの
バックナンバーはこちら

丹後町内の新コミュの動き

新たな地域コミュニティ（新コミュ）の取組が今年度から本格化し、丹後町内では4組織が取り組んでいます。今月号では、竹野、宇川地域の新コミュを紹介します。

※新コミュとは？

行政区を超えた広域の範囲で連携し、若年層や女性など多様な方を巻き込みながら多彩な活動に取り組むことで地域課題の解決に取り組む組織または活動のこと。

地域を大切にする心を育む竹野コミュニティ（通称：たけのこ）

竹野コミュニティは地域の人が参加しやすい事業に取り組んでいます。運動会のほか、地区公民館事業であった文化祭を竹野コミュニティの事業として引き継がれています。



9月28日（日）に開催された竹野コミュニティ運動会。地区対抗制ではなく、希望者は誰でも参加できる仕組みとなっています（競技ごとに参加資格あり）。



11月30日（日）に開催された「たけのこ文化祭」。伝統芸能である「竹野テンキテンキ」や此代地区の太刀振りの映像が流されていました。作品展示の他、ぜんざいの振る舞いやゲームコーナーが設けられ、多様な世代が集まっていました。



間人区×竹野コミュニティで開催したもちつき大会。昔ながらの臼（うす）と杵（きね）を使った餅つきを子どもたちが体験しました。あんこやきなこなどお好みのトッピングでつきたてのお餅を試食しました。



夢まち創り大学を活用した取り組み：うかわコミュニティ

宇川地域では、京丹後市夢まち創り大学（通称：夢大）事業を活用し、龍谷大学政策学部今里ゼミと連携した活動を行っています。持続可能な地域づくりを意識し、来場者、運営側ともに楽しめる事業運営を行っています。



9月13日（土）に開催された宇川レアラマ祭り。サザエ釣りや宇川雑学王決定戦など地元愛を感じる催しを開催しました。



今里田（今里ゼミ生が米作り体験）で収穫されたお米の試食を目的とした秋の収穫祭を11月8日（土）に開催。翌日開催された文化祭では、今年度に取り組んだ獣害対策の事例を発表しました。



11月9日（日）に開催された宇川地区文化祭では、子どもから大人までの作品を展示するとともに、宇川加工所による地元産品を使用した商品の販売、たこやきの振る舞いなど多様な世代が集まりやすい催しを開催しました。宇川フォトコンテスト（今里ゼミ主催）では、エントリーされた宇川にまつわる写真の中から人気の高い写真が来年のカレンダーに採用され、宇川地区に配布されます。

響かせよう！繋げよう！太鼓の輪 IN 宇川（里山音楽祭）



11月9日（日）に和太鼓集団「和太鼓政や」を招き里山音楽祭（主催：里山音楽祭実行委員会（代表：山口洋子さん））が宇川小学校体育館で開催されました。「和太鼓政や」は日本の伝統文化である和太鼓の魅力を普及させるため、京丹後市内で和太鼓塾を開催しており、当日は塾生とともにステージに立ち猛々しい太鼓の音を響かせていきました。

イベント情報を丹後市民局（電話69-0714）へご提供願います。